

## 平成 28 年度における公共工事縮減対策の実施結果について

### 1. これまでの経緯

公共工事コスト縮減については、平成 19 年度から対策に取り組み、平成 24 年 3 月に「那須塩原市公共工事コスト縮減に関する行動計画（改訂版）」を策定し（実施期間：平成 28 年度末まで）、更に平成 29 年度から平成 30 年度までの 2 年間の期間延伸により、公共工事のコスト縮減に取り組んでいる。

### 2. 取り組み状況及び結果

主なコスト縮減の内容は、舗装工事において路上再生路盤工法を推進したことにより約 5 百万円の縮減額となり、土木一式工事は、現場発生土の工事間流用（良質発生土を新規改良路線へ盛土材として搬入）を積極的に行い、約 9 百万円の縮減額が図られた。

その結果、平成 28 年度の対象工事 223 件において縮減額が 14.7 百万円、率にして 0.3% の縮減率となった。

過去においては、有効なコスト縮減施策としていた計画・設計方法が現在では標準となり、コスト縮減の意識が定着してきたことから、縮減率は漸減するものと思われる。

#### 工種別集計

工 事 種 別	対象件数	対象工事金額 a	実施件数	縮 減 額 b	縮減率 b/(a+b)
土木一式工事	54	1108.1 百万円	54	9.1 百万円	0.8%
建築一式工事	38	1584.8 百万円	38	0 百万円	0%
電 気 工 事	20	264.3 百万円	20	0 百万円	0%
管 工 事	14	197.4 百万円	14	0 百万円	0%
舗 装 工 事	60	828.9 百万円	60	5.6 百万円	0.7%
水道施設工事	32	592.2 百万円	32	0 百万円	0%
そ の 他	5	69.2 百万円	5	0 百万円	0%
計	223 件	4644.9 百万円	223 件	14.7 百万円	0.3%

#### 施策別集計

分 野	施 策 名	実施件数	縮 減 額
I. 工事コストの低減	・ 計画手法や設計方法の見直し ・ 現場発生材の活用 等	133	14.7 百万円
II. 工事の時間的コストの低減	・ 現場への早期対応 ・ 交通渋滞の緩和 等	6	—
III. ライフサイクルコストの低減	・ 環境と調和した施設への転換	0	—
IV. 工事における社会的コストの低減	・ 建設副産物対策 ・ 資源循環の促進 等	2	—
V. 工事の効率性向上による長期的コストの低減	・ 工事情報の電子化向上 (電子入札、電子納品の実施)	156	—
計		※297 件	14.7 百万円

※ 1 つの工事で複数の施策に取り組んでいるものもあるため、工種別の実施件数とは一致しない。

II、III、Vにおいては、縮減額の算出をしていない。実施件数のみ計上。